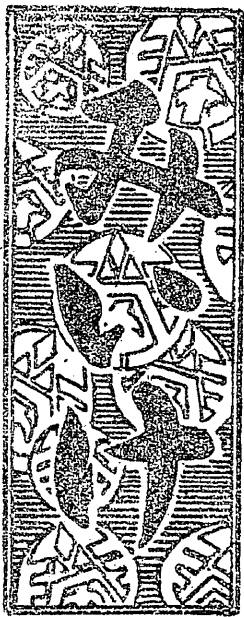


# いよいよ賃上げを要求

マンガは、四山指導部転場五分会新聞「きずな」NO・四九二  
月二十二日発行)から、がんばれ「きずな」。



発行所  
三池炭鉱労組  
大牟田市不知火町2  
電話(53)3033番  
(53)3034番  
編集兼  
発行人 前川 哲也  
半年間1,200円 送料共

## 大災害裁判公判

三池大災害裁判公判は、月二十  
六日福岡地裁で開廷。金子嗣郎医  
師の証言の証言に、被告側は金子  
弁護士の証言に、被告側は金子  
主張の正しさを主張した。なお  
次号にわくく伝える予定。

## 一方四百円を要求

### 炭労、賃上げで申入れ

炭労は、大会を終るとすぐ石炭 長に対して、賃上げそのほかの  
協会(有吉新吾会長)三井石炭社 春闘諸要求を出し、いよいよ事実  
四五百円(月額にして一万三千元、

上七九春闘がすべり出した。  
要求内容は「賃金引上げ」「災  
害補償増額」「健康保険料労資  
担割合率の変更」など。  
なかでも重要な賃上げ要求につ  
いて断絶すれば、全鉱員一方当り  
とせよ。などがある。あと省略

## 合理化攻撃の嵐のなか炭労大会

## 職場の実態訴え聞おう

### 石炭産業守るのは労働者だ

先ごろ東京の国労会館で開催された炭労臨時大会は、合理化攻撃の嵐にさらされるなか最後の  
討論を行なった末、何はさておき七九春闘方針(一方四百円・月額一万三千元の賃上げ要求な  
ど)を確立、すでに要求は炭労から石炭協会に出され、いよいよ七九春闘がすべり出した。

炭労大会は二月二十一・二十二 国の政策目標は、石炭の年産高を  
日に開催された。  
二千万トン(実績は下回る)とし  
現在増大し続ける貯炭が石炭産 ながらも、石炭資本(石炭協会)  
業を圧迫し、石炭資本はそれを口 明らかにしている生産計画は千  
七百万五千万トンに過ぎぬ。そこか

いる労働者を中央に結集し、積極  
的にアピールするべきだ。  
——もっとマスコミに協力を求  
め、炭鉱の現状、炭鉱労働者の実  
態を広く知ってもらう努力が必要  
だ。  
——日本の石炭産業を守ってい  
るのは、労働者だ。職場の実態を  
もっと明らかにしながら、職場で

三池労組は二月十九日の中央委  
員会で、職場討議にもつき炭労  
大会対策をきめ、それにより代表  
は炭労大会で主張し、活動した。  
(詳細は省略)

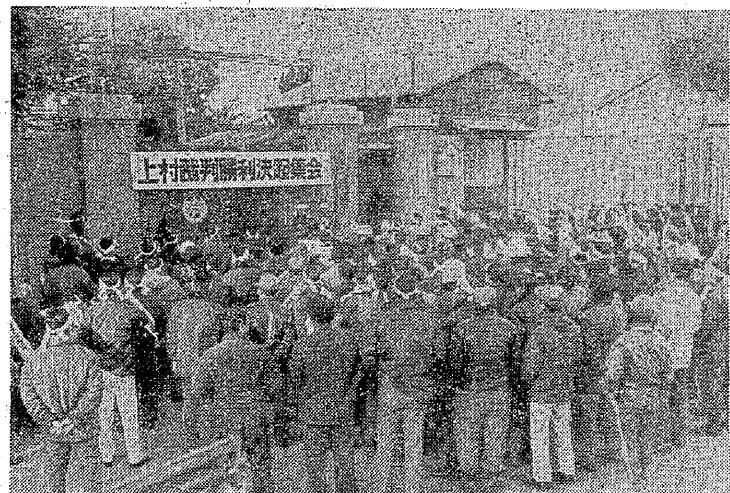
## 上村裁判、結審となる

### 再び全面勝訴を期す

### 判決に向け団結の力を

第二審の開始以来三年八九月、提訴以来教えれば十一年以上わたって闘い続けた上村裁判は  
二月二十七日の第十九回公判をもって結審となり、いよいよ高裁での判決を迎えるばかりとなっ  
た。三池労組は再び全面勝訴(第一審)を勝ち取るため、団結をひきしめている。

上村京子さん(四十歳)ら三人 えるばかりであるが、三池労組は  
の原告を立て、三池労組が三井炭 第一審の全面勝利を上げる成果  
山の災害責任を追及するために闘 を期し、ひき続き判決の日まで最  
つてきた上村裁判は、二月二十 後の努力を積み重ねていく。  
日の第十九回公判をもっていよいよ 三池労組は結審ときまっていた  
よ結審となった。あとは判決を迎 日の前日、三川鉱正副前組員



上村裁判勝利へ奮闘を誓う決起集会。弁護団  
代表の本多弁護士もかけつけた。

とを誓った。(四面に詳報)